



Vol. 89
2020.3



amiharinomorinoikimonotachi amiharinomori * 網張の森の生き物たち * amiharinomorinoikimonotachi amiharinomori

クルッと丸まっている“ノキシノブ”

雪の上にいるにもかかわらず、じわりと汗が出てくるようなぽかぽか陽気のある日、見上げた木の幹からクルクルと丸まっているノキシノブを見つけました。春めいた気候にぴったりなカーリーヘアのようです。この葉は乾燥して縮こまっていますが、水分が十分だと平たく細長い葉になり違った印象に見えます。以前取り上げたシダ植物のオシャグジデンダの葉も乾燥のためにクルッと巻き上がっていたので「図鑑みたいな状態で載せてほしいのに！」という声が今回のノキシノブからも聞こえてきそうです。おまけに葉の裏に並ぶ胞子の集まりを星になぞらえた“ウラボシ”もすっかり内側にくるまれて見えない状態。今度は湿潤な時期に葉の開いた状態で出会えるよう精進します…。それにしても革質の葉で胞子をしっかりとガードしている姿は樹木の冬芽にもよく似ています。植物に限らず多くの生きものの“子孫を残す”というミッションが、厳しい環境の中でも適応しながら着実に行われていることに改めて気づかされました出会いとなりました。

What is
“Nokishinobu”?

『細長い葉のシダ』

ウラボシ科
体長：10～30cm 程
分布：北海道南部～沖縄
わら葺き屋根や軒下など
によく生育するところから
名づけられた。葉の裏の胞
子の集まりがたくさん並び
目のように見えることから
「八目蘭（ヤツメラン）」
と呼ばれることも。林内の
やや暗い湿った木の幹や岩
の上などに着生する。

(参考図書：「野外観察ブック-シダ植物」他)

amiharinomorinoikimonotachi amiharinomori amiharinomorinoikimonotachi amiharinomori amiharinomorinoikimonotachi amiharinomori amiharinomori



樹木が少なく雪もない内で、白い山より白く見える

網張から見える 山／ート

22 ページ目

さるもりやま
笊森山

さるもりやま
笊森山

標高：1541m

位置（網張 VC から）：西南西

登山適期：6月～10月（秋田県道127号及び194号の開通時に注意）

特色：隣の烏帽子岳（1477.5m）より標高が高い。山名は丸みを帯びた形から、それともアイヌ語の「サル」（湿原）が転じたのだろうか？

秋田駒ヶ岳から烏帽子岳や千沼ヶ原へ、足をのばす時に通過ポイントとしてかかせない山です。縦走する経由地は湯森山・熊見平・笊森山と続きますが、これらは古い火山で比較的緩やかな地形と山頂に火口が確認できないのが特徴です。中でも笊森山の火山形成年代は松山逆磁極期（258.1～77万年前）とされていて古株です。西岩手火山が70～30万年前、秋田駒ヶ岳が9～7万年前から活動を始めた事を思うと、壮年期のような落ち着きを感じられます。秋田駒ヶ岳からのルートは高低差がそれ程ないので、新旧の火山地形や植生の変化を感じながらハイキングのような感覚で歩けます。途中の熊見平には小規模な池塘湿原がみられ、夏にはニッコウキスゲが群落を作ります。笊森山の低木に着目すると、ハイマツにまぎれてミヤマネズやガンコウラン、ミヤマハンノキ、ナンゴクミネカラエデなど森林限界に近いエリアにも意外と多様な植生が分布している事が分かるでしょう。



湯森山を下って望む笊森山、三角山、高倉山、一番奥は岩手山

八幡平地域のオオシラビソの南限

笊森山と湯森山の鞍部にある湿原、熊見平周辺が十和田八幡平国立公園内のオオシラビソの南限である。比較的新しい火山の秋田駒ヶ岳に自生しないのは、地形や土壤、気温、風、積雪量など様々な要因が考えられる。岩手山ではオオシラビソの群落が西から東へ少しづつ分布を増やしており、このエリアも遷移途上なのかもしれない。



Amihari
Birds

アミハリ・バーズ Vol. 3 2

キバシリ

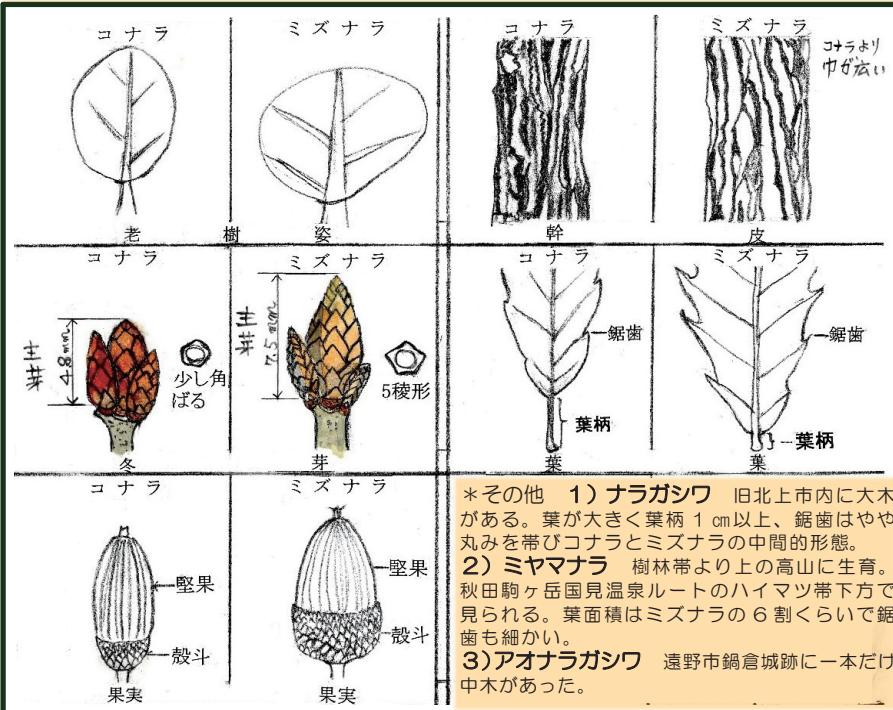
科名：キバシリ科
全長：約 14cm
生態：留鳥
分布：九州以北

野鳥の鳴き声を文字化していくと思うのは、音楽の譜面を見てもその曲が頭の中で再生されないので似たもどかしさです。無理を承知でキバシリのさえずりを記してみましょう。「ピチヨ ピチヨ ピイピイピイ チーチー リリリ・・・」系統としてはミソサザイに似て高音で、次第に早口になります。

地鳴きは「ツリリリ ツリリリ・・・」と繰り返しますが、残念ながら網張の森でこの声の主と出会うのは簡単ではありません。似たような体格と習性をもつゴジュウカラやコケラに比べると、生息数はかなり少なめではないでしょうか。彼らと違ってキバシリは植物の種子を食べない昆虫食です。じつにつまみやすそうなピンセットのような嘴をしています。ダケカンバやスキなど昆虫が潜んでいそうな樹木に垂直にとまり、クモや虫の卵などを探してらせん状に登ります。木をすばしこく移動する「木走り」ですが、姿が似ているコケラも以前はキバシリと呼ばれていたのだとか。

喜作先生の自然スケッチ ミズナラ(水樺)とコナラ(小樺)

網張の森の主役級スターといえばミズナラ。国立公園になる以前から岩手山麓のミズナラ林は薪炭材の供給地として人々の暮らしと深く関わってきました。里山で見られるコナラとの違いは何か? 喜作先生が調べてくれました。



ここ網張ビジターセンター周辺の森のナラは全てミズナラであるが、スタッフの話だとキャンプ場にコナラがあるという。どうやら後で植樹されたらしい。ミズナラの名の由来は材に水分が多いことから来ているがコナラの由来は不明。材としてのミズナラは光沢があって滑らか。ワイン・ウイスキー樽として優れ特に北海道産のものは明治時代に欧洲向けに輸出された。フローリングや櫂の滑り面に適し、薪炭(白炭)材にも良い。コナラは乾いた感じで毛羽立ちフローリングや櫂の滑り面には向かない。ミズナラより硬い感じで薪炭材として優れ、椎茸のホダ木にも使われる。

いずれ滝沢市大石渡から網張までのミズナラとコナラの分布を調査したいと思っている。

記事をまとめるにあたり木藤古徳一郎氏、亀山長治郎氏(1978年没)、零石の炭焼き氏からいろいろ教えていただきました。ありがとうございました。(亀山記)

項目	ミズナラ	コナラ
盛岡地方の分布	標高200mから1,200m	標高100mから400mまで
立地条件	適潤地	やや乾燥土壤
老樹姿	樹冠が広がる	やや直立
寿命	約400年	約250年
樹皮	はじめ鱗片状で剥がれ、老木は縦にコナラより広く裂ける	縦にミズナラより狭く裂ける
葉の形状	葉柄約0.3cm 葉脚からある鋸歯の切れ込み深い 葉の大きさはコナラの3倍以上	葉柄約1cm 鋸歯の切れ込み浅く丸みを帯び葉脚付近には鋸歯の無いものもある。ミズナラより葉が小さい。
冬芽	コナラより太く長く五稜形に角ばる。頂芽(主芽)は側芽より目立って大きい。	ミズナラより細めで頂芽(主芽)は側芽より少し大きい。
どんぐり(堅果)	太くてズングリ、殻斗は堅果の4割ほど包む	やや小さめスリムで殻斗は堅果の2割を包む

◆◆◆ 東北地方環境事務所からのお知らせ ◆◆◆

日頃より、十和田八幡平国立公園の保護及び利用の推進にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

東北地方環境事務所では、網張ビジターセンターをより多くの人に楽しんでいただき、十和田八幡平国立公園を知っていただく場所として、春から秋にかけてリニューアル工事を行う予定です。工事期間中も開館いたしますが、施設の一部が利用できなくなることが想定されます。

利用者の皆様には、工事中ご不便をおかけしますが、ご理解・ご協力のほどよろしくお願いいたします。



網張ビジターセンター展示予定図

雪の世界は文句なく楽しかった♪

写真提供：岩手山地区パークアドバイス

1月19日 ★この時期しか歩けない！ 冬の鞍掛山麓スノーシューウォーク



「登山道を全く使わずに鞍掛山の周りをぐるりと一周してみたい」という夢が実現。たきざわ自然情報センター開設10周年の記念行事として滝沢市や滝沢市山岳協会と協力して開催。子供3名含む総勢52名。夏は一面のササ藪でクマの徘徊している山麓や雪の急斜面といった難所もスノーシューを履いて全員無事に踏破しました。

3月1日 ★鎌倉森で雪山入門 (冬山登山体験)



国立公園内にあって登山道は無いが抜群の展望を誇る鎌倉森。積雪期に挑む登山者が急増しています。ビズターセンターでは森林管理署に入林届を出した上で冬山初心者向けの行事を開催し総勢38人が参加。自然を観察しながらスノーシューでの登降を学びました。「10年くらい前から参加したいと思っていてようやく念願がかないました。」との感想も。

モモンガのつぶやき

新型コロナ肺炎騒ぎの空気、あの時と似ています。ここで働き始めたのは東日本大震災直後、果たしてお客様が来てくれるのかと不安の日々。それでも顔を出し「自然に癒される」と笑顔を見せてくる人がいました。

人間と自然の交差点にある
ビズターセンターという職場
で働いた9年間は私にとって
幸せな時間でした。

ありがとうございました。 (たくちゃん)



十和田八幡平国立公園 網張ビズターセンター

来館者数 ◆ 1月 1,325人 ◆ 2月 1,443人
朝9時のビズターセンター平均気温 ◆ 1月 -6.6°C ◆ 2月 -5.9°C

発行 網張ビズターセンター運営協議会

〒020-0585 岩手県岩手郡雫石町長山小松倉1-2（網張温泉）

TEL 019-693-3777 FAX 019-693-3778

URL <http://amihari17.ec-net.jp>

E-mail amihari@vanilla.ocn.ne.jp

開館 夏期（4月から10月末まで）休館日なし 9時～17時

いわて雪まつり

2月7～11日 ★ “網張の森” かんじき散策



日本伝統のかんじきを履いて雪深い森の中へ入ると昔の「マタギ」になった気分。沖縄や京都、大阪、静岡といった県外だけでなくタイ、香港、マレーシアといった外国からのお客さんも結晶の見えるサラサラの雪に大喜び。パークボランティアの作ったイグルーやソリ滑りも楽しみました。

網張ビズターセンターだけで入手できる印跡物が完成！

絵はがき 「アミハリ・バーズ」「岩手山八景」

どちらも8枚組 700円（ばら売り可 1枚100円）



「アミハリ・バーズ」
網張で見られる
野鳥たちがスタッフのオリジナルイラストで
次々に登場。



「岩手山八景」
中山大太郎氏撮影



フォトブック「網張の花」700円 網張に咲く182種の花を網羅